

同時資料配布先：

経済産業記者会

学研都市記者クラブ

2023 年 10 月 30 日

公益財団法人 地球環境産業技術研究機構

革新的環境技術シンポジウム 2023
～2050 年カーボンニュートラルを支えるイノベーション～
開催のご案内

地球環境産業技術研究機構は、2023 年 12 月 20 日（水）にイイノホール&カンファレンスセンターにおいて、当機構が取り組む研究開発について報告するシンポジウムを開催します。

本シンポジウムでは、理事・研究所長の下田吉之による基調講演と各研究グループから最新の研究成果を報告する他、招待講演として経済産業省大臣官房審議官の小林出様にご登壇いただきます。また、ポスターセッションも開催し、当機構の研究者とお話いただける場も設けております。

地球温暖化問題やその対策技術にご関心をお持ちの多くの皆様のご参加をお待ちしています。

1. 開催趣旨

地球環境産業技術研究機構は、地球温暖化対策における中心課題である CO₂ 削減を実現するための革新的エネルギー・環境技術の研究開発を推進するとともに、地球温暖化対策シナリオを作成して政策提言につなげてきました。

CO₂ の大幅削減にはイノベーションの創出が不可欠です。本シンポジウムは、国際的な温暖化対策の情勢も踏まえながら、最新の研究成果を広くご報告することを目的として開催します。

2. 開催概要

主 催： 公益財団法人 地球環境産業技術研究機構（RITE）

後 援： 経済産業省、公益社団法人 日本化学会、公益社団法人 化学工学会、

（予定） 公益社団法人 日本農芸化学会、一般社団法人 エネルギー・資源学会、
一般社団法人 日本エネルギー学会、公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会

日 時： 2023 年 12 月 20 日（水） 13：00～17：25 （受付開始 12:30）

会 場： イイノホール&カンファレンスセンター（東京都千代田区）および、Web 配信

参加費： 無料

プログラム（敬称略）：

- ・ 招待講演：COP28 の成果と今後の動向
経済産業省 大臣官房審議官（環境問題担当） 小林 出
- ・ 基調講演：大阪・関西万博と脱炭素
RITE 理事・研究所長 下田 吉之
- ・ 講演 1：排出削減ポテンシャルとコスト－IPCC 報告書等の検証と含意－
システム研究グループリーダー 秋元 圭吾
- ～ 休憩（ポスターセッションを 4 階 Room A で開催）～
- ・ 講演 2：カーボンニュートラルの実現を目指したバイオものづくり技術の開発
バイオ研究グループリーダー 乾 将行
- ・ 講演 3：カーボンニュートラル達成に向けた CO₂ 分離回収・有効利用技術開発の動向と
RITE の取り組み
化学研究グループリーダー 余語 克則
- ・ 講演 4：国内における CO₂ 地中貯留の実用化・事業化に向けて－変わる研究開発と新しい役割－
CO₂ 貯留研究グループリーダー 薛 自求

<ポスターセッション>

12:30～16:00 まで、4 階 RoomA にてご自由にポスターをご覧ください。
説明員もおりますので、お気軽にご質問ください。

（詳細はリーフレットを参照願います。）

3. 参加登録

RITE ウェブサイト <https://www.rite.or.jp> よりお申し込みください。

4. プレス登録

取材を希望される報道関係の方も、事前に参加申込みをお願いいたします。やむを得ず当日受付となる場合は、本人確認のため名刺をご持参ください。

本件に関するお問合せ先：

（公財）地球環境産業技術研究機構 企画調査グループ 広報・産業連携チーム

TEL：0774-75-2301

Innovative Environmental Technology Symposium 2023

革新的環境技術シンポジウム2023

～2050年カーボンニュートラルを支えるイノベーション～

2023年12月20日 水 13:00～17:25(受付開始 12:30)

イノホールおよび Web 配信(ハイブリッド開催) **入場無料**

主催：公益財団法人 地球環境産業技術研究機構

後援(予定)：経済産業省、公益社団法人 日本化学会、公益社団法人 化学工学会、公益社団法人 日本農芸化学会、
一般社団法人 エネルギー・資源学会、一般社団法人 日本エネルギー学会、
公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会

SCOPE

我が国では2023年2月、脱炭素、エネルギー安定供給、経済成長の3つを同時に実現するべく「GX（グリーン・トランスフォーメーション）実現に向けた基本方針」が閣議決定され、同年5月、GX推進法が成立し、CO₂を排出しないクリーンエネルギー中心に転換することを目指しています。世界的には、COP27で採択された「シャルム・エル・シェイク実施計画」では、COP26全体決定「グラスゴー気候合意」の内容を踏襲しつつ、緩和、適応、ロス&ダメージ、気候資金等の分野で、締約国の気候変動対策の強化を求める内容となっています。このような背景から、革新的エネルギー・環境技術への期待は今まで以上に高まっています。

当機構は設立以来、このような抜本的なCO₂削減を実現するための革新的エネルギー・環境技術の研究開発を推進するとともに、地球温暖化対策シナリオを作成して政策提言につなげてまいりました。温室効果ガスを大幅削減するためにはイノベーションの創出が不可欠であるため、本シンポジウムでは、国際的な温暖化対策の情勢を踏まえながら、全グループの最新の研究成果をご報告いたします。

プログラム

12:30	受付開始	
13:00～13:05	開会挨拶	理事長 山地 憲治
13:05～13:35	招待講演	COP28 の成果と今後の動向 経済産業省 大臣官房審議官(環境問題担当) 小林 出
13:35～14:05	基調講演	大阪・関西万博と脱炭素 理事・研究所長 下田 吉之
14:05～14:45	講演 1	排出削減ポテンシャルとコスト –IPCC 報告書等の検証と含意– システム研究グループリーダー 秋元 圭吾
14:45～15:20	休憩	ポスターセッションを Room A で開催
15:20～16:00	講演 2	カーボンニュートラルの実現を目指したバイオものづくり技術の開発 バイオ研究グループリーダー 乾 将行
16:00～16:40	講演 3	カーボンニュートラル達成に向けた CO₂ 分離回収・有効利用技術開発の動向と RITE の取り組み 化学研究グループリーダー 余語 克則
16:40～17:20	講演 4	国内における CO₂ 地中貯留の実用化・事業化に向けて –変わる研究開発と新しい役割– CO ₂ 貯留研究グループリーダー 薛 自求
17:20～17:25	閉会挨拶	専務理事 本庄 孝志

ポスターセッション

12:30～16:00 の間、4 階 Room A にてご自由にポスターをご覧ください。説明員もおりますので、お気軽にご質問ください。

アクセス

イイノホール & カンファレンスセンター

- 東京メトロ日比谷線「霞ヶ関」駅 C4 出口直結
- 東京メトロ丸の内線「霞ヶ関」駅 B2 出口徒歩 5 分
- 東京メトロ銀座線「虎ノ門」駅 9 番出口徒歩 3 分
- 東京メトロ有楽町線「桜田門」駅 5 番出口徒歩 10 分
- JR 山手線・京浜東北線・東海道線・横須賀線
都営地下鉄浅草線、ゆりかもめ「新橋」駅徒歩 10 分
- 都営地下鉄三田線「内幸町」駅 A7 出口徒歩 3 分

お申し込み

RITE ウェブサイト

<https://www.rite.or.jp>

よりお申し込みください。

申込締切：12 月 13 日(水)

